

市長と語ろう！ タウンミーティング 報告書

平成30年11月24日（土）15：00

北秋田市民ふれあいプラザ 1階 多目的ホール

【出席者】

子育て世代参加者：18名

市関係者

市長

副市長

総務部長、健康福祉部長

総合政策課長（司会）

こども福祉係長、政策係長

他担当係員

概要

- ◇ 子育て世代を対象に事前募集した参加者によるグループトークを行い、発表後に市長とのディスカッションを実施。
- ◇ グループトークでは、北秋田市の子育て施策の良いところと良くないところを付箋紙に書き出してもらい、ジャンル別にまとめてもらうなどの作業を行い、グループごとに発表。
- ◇ グループ発表の内容および市長とのディスカッションの内容は以下のとおり。

グループ発表概要

グループA

- 医療費や予防接種の負担への助成は全国に誇れるものではないか。
- わんぱあくやねまーの広場もあり、子育てに困るところがない。
- スクールバスの運行があるのが有難い。
- 地域の特性を活かした川遊びなどの体験イベントはとても良い。
- 施策（イベント）があまり知られていない。もっと発信してもらいたい。
- 児童館と児童クラブの線引きが厳しい。はっきり分からないので、もう少し安心して子育てできる環境づくりをお願いしたい。

グループB

- 子育て支援センターや遊び場所があり、大変助かっている。
- 相談できる場所の提供もあるので助かっている。
- わんぱあくのキャンセル待ちが多い。
- 子どもが少なくなっている現状なのに、なかなか保育園に入りにくい現状がある。（保育士不足の現状が背景にあるのではないか。）
- 子育て支援のイベントが同じ日にかぶっていて、どちらにも参加したいができないので、施設同士での日程調整が行われれば良いと思う。
- 「おはなしでてこい」や「読み聞かせ」などは、もっともっと利用者が多くなれば良い。
- 保育料の補助はまだまだ高いなあという声もある。
- 室内アスレチックなどの施設がもっとあればよい。

グループC

- マルフクなど医療費無料化はとても有難い。
- 妊婦検診の補助は有難い
- 相談できる場所や未入園児の親子での遊び場所があるのはいい。
- スクールバスやタクシー、定期券補助はいいと思う。
- 大きな遊び場があるのは良い（北欧の杜、ドリームワールド）
- 産科小児科の病院が少ない。
- わんぱあくを予約をしたいが、空きがない場合に困る。
- 子育て支援拠点施設として、わんぱあくやねまーは使いやすいが、しゃろーむや南鷹巣保育園

だと保育園の中にあるので利用しにくい。

- 先生も介入しないし、いろんな話も聞こえるので、安心してスポ少に入れられない状況である。
(人生ではじめてスポーツに触れる機会なのに残念)
- 室内の遊び場がない。
- (直接子育てとは関係ないが) 駅前が寂しい。人が集まることをやってもらいたい。

グループD

- 専門の職員がいる場所があり、安心して預けることができる。
- 医療費負担がかからない仕組みであり良い。
- 図書館システムが利用しやすい。
- イベント情報がうまく認知されていない。
- 情報が目に付く機会が少ない。ネットで探しても出てこない状況である。
- 今回のイベント情報の告知が、ねまーるに無かった。
- 田舎ならではの体験を増やしてもらえればよい。
- 仕事が終わってから小児科に連れて行ける選択肢が少なく、他市へ行かなければならない状況である。

グループE

- 助成(マルフク・予防接種・保育料)は有難い。
- 妊婦検診の費用負担が少なくて助かる。
- 地域子育て支援の場所があって助かる。
- 小さい子どもが遊ぶ場所が多い。
- 保育園から小学校に上がる時にかかるお金に対して助成があれば良い。
- 全世帯に祝い金があればよい。
- クーポンは第3子だけではなく第1・2子の時にもあれば良い。
- フェイスブックだけではなく、情報発信のツールを考えてもらいたい。

市長感想

- ☆ マルフクに関してはお褒めの言葉をいただいた。今後も制度設計を考えて続けていきたい。
- ☆ 産科小児科が少ないことについて、専門の科でないと安心して診てもらえないと思うので、何とか改善できるようにしたい。地元でも診てもらえるには医者がいれば良いことなので改善していきたい。
- ☆ 情報発信は、市でも良いコトをやっているが伝わっていない。イベントが重なってしまう状況についても情報共有していくことで改善していきたい。
- ☆ 市のホームページ・広報もあるが、自分たちの希望する情報にたどり着けない状況。ホームページを来年リニューアルすることにしてしているので、今日の意見も参考にしてリニューアルに活かしていきたい。

ディスカッション

参加者) 1歳の双子、初めての子ども。どう育てていいか分からないと思っていたときに子育て支援センターに助けられた。気軽に聞ける環境が有難かった。

毎週コムコム2階でお母さんたちが集まるイベント（ノーバディズ・パーフェクト）もとても有難かった。

育児初心者にはとても良い環境である。

市長) 子育て支援センターやお友達がいる環境を定期的に作って充実していきたい。

感謝していることとして、自分は大館市民であるが、休みの日に遊ぶ場所として北秋田市に連れてきている。気軽に遊びに行く場所がたくさんあっていいと思う。

市長) 自然型の施設はたくさんある。冬をどうするかという問題はあある。地方は都会と違って遊びに行く場所がないが、子どもを思いっきり走らせたり遊ばせたりする施設の活用ができればいいが、一方できちんと管理していかないといけないので検討していきたい。

市外に行かなくても、市民および市民以外の人にも来られるような場所も必要と感じている。

参加者) 北秋田市は子育てしやすい。息子は4歳。それまではわんぱあくねまーるを使っていたが、ノーバディズ・パーフェクトのプログラムを利用したことで、一人目の子育てで全く分からなかったことについても気づかされたことが多かった。

結婚して北秋田市にはじめて来て、家族以外に知り合いがいなかった中で、子どもを通じてたくさんの人たちと知り合いになれた。このような場所を作ってもらっていることに感謝したい。

不安に思っていることとしては、死産や不妊の経験がある方々が自分の思いを伝えられたり相談できたりする場所があればいい。市の職員だと言えることもあると思うのでそういったところにも目を向けてもらいたい。

市長) 不妊治療はかなり不安。どこに相談したらよいか、どういう集まりがあるかなどの情報発信をしていかないといけない。

参加者) 一度東京に出て戻ってきた。知っている人がいない中での子育てでもあり、なるべくたくさんさんの情報を得て、イベントに出るようになってきたが、イベントが重なったり、情報を得るのに苦労した。それぞれの施設で情報を出しているの、一生懸命探してこないといけない状況である。大館の小児科で「今月のイベントカレンダー」が置いてあり、一枚のカレンダーで情報が一目で分かるものであったので、ぜひ北秋田市でも取り入れてもらいたい。ばらばらな情報発信を一目で分かるようになれば出かけやすくなる。

子どもには田舎ならではの体験をして育ってもらいたいと思っているし、子ども時代の経験があれば、一度市外に出ても田舎に帰ってこようと思うはずなので、少子化問題にもつながるはず。逆にどんどんアナログな部分を発信していけば少子化対策になる。マタギの体験などもとてもいいと思う。

市長) イベントカレンダーなどの情報発信は、当市ではどういった場所があればいいと思うか？

発表者) 道の駅やご飯を食べるところ（いとくのフードコートなど）があれば手に取りやすいと思う。

健康福祉部長) 大館の大型店のイーオンコーナーにあったのは知っており、課内で情報共有して頭に入っている。

市長) すごく良い話だと思う。イベントが重複しないようにしないといけないし、活用してもらう情報発信をしていきたいと思う。

参加者) 3人の子供がいるが、不安に思っていることとして、わんぱあくのキャンセル待ちが多いこと。前もって予約できる時は預かってもらえるが、急に別の子どもを病院に連れて行く必要が出てきた場合に預かってもらえないと結構大変と感じている。

実家でも嫁ぎ先でも預けることができればまだいいが、転勤などで誰にも頼めないお母さんたちは苦労していると思う。

市長) 昔は隣近所、親戚でなくても預けることができたが、今は何かあれば・・・という考えやプライバシーの問題から、簡単に預かることが難しい状況になっているので、わんぱあくをうまく利用できるようにするのが検討課題であると思う。方法を探してみたい。

司会) PR 不足について複数指摘をいただいた。我々も皆さんに届く形を模索しているが、何かご提案があればアドバイスを。

参加者) PR 不足について。秋田魁の紙面にある地域のイベント情報欄に北秋田市の情報が圧倒的に少ない。やっているけど載せていないのか、やっていないのか。

もっと目に付くところ(ねまーなど)にお知らせすることが重要。子育て情報フェイスブックのフォローもしているが、ただ他からの情報を転載しているだけなので、市の方でももう少し噛み砕いたものを載せて欲しい。

司会) 総合政策課は結婚支援など情報発信している部署なので、参考にさせてもらいたい。

市長) フェイスブックの話があったが、北秋田市をPRする時にはただ写真を撮ってアップするだけなので、担当している職員は分かるが、一般市民に向けてはチラシだけではなく、説明を付け加えてあげたほうがいいと思う。

参加者) 思い出したことだが、北秋田市のイベントに遊びに行きたいと思ったときに感じたのが、オムツを換えたりする場所があるのか、おやつを食べさせるところがあるのかであった。市役所にもオムツを換えるスペースがなくて驚いたことがある。

おむつ交換ができるなどの情報を、イベントのお知らせの中にちょっとした情報としていれてもらえれば安心してイベントに参加できると思う。

市長) オムツ交換場所は、旧公民館を改築したときには設置したが、これからは施設には必要になってくるので、子育て支援に関係ある部署だけではなく、例えば建設部で建物を建てるときなどにも頭に入れていくなどをしていかないといけない。

参加者) 父親の育児休暇は北秋田市ではどれくらい進んでいるのか? 取得できることで子どもやお母さんがとても助かる。イクボスなどを進めて欲しい。一人でみんな頑張っているお母さんが多いので、お父さんたちにも頑張ってもらうためにも、お父さんたちへの支援があまりないと思う。

総務部長) 頑張って父親にも育児に参加して欲しいと思う。どれくらいかは分からないが段々浸透してきているとは思っている。

市長) イクボス宣言をしているところもある。まず率先して休暇が取れるような環境づくりをしたいので検討課題としたい。

傍聴者) 子育ての期間は限られている。子育ては大変だけど、子育てをできる喜びを考えながら、楽しみながら頑張ってください。

市長締め挨拶

- ◇ 有意義な会であったと思う。
- ◇ 自分でも子育てを終えてみて、自分はあまり一生懸命ではなかったかもしれないがあつという間の時期であった。
- ◇ 色々な都合があると思うが、子どもの笑顔が元気にしてくれるので、しっかり育て上げて欲しいし、市として手助けできることを一生懸命していきたい。
- ◇ みなさんの相談を受けられるようにしたいし、情報発信をしていきたい。
- ◇ またできれば、このような機会を設けていろいろな相談やご提言を受けられたら良いと思っている。

(閉会)



【参考】グループトークシート

A

医療

良い所
 〇 〇 〇

良くない所
 × 産科が少い

教育

良い所
 〇 〇

良くない所
 × 〇

その他

良い所
 〇 〇

良くない所
 × 〇

支援拠点事業

良い所
 〇 〇

良くない所
 × 〇

B

良いところ

悪いところ

☆要望☆

子育ての楽いや
 子育てに7つある!

C

医療費

子育ての負担が大きい

教育

良いところ
 〇 〇

悪いところ
 × 〇

子育て情報

〇 〇

**子育ての楽いや
 子育てに7つある!**

〇 〇

要望

小中学校
 施設問題

フェイスブック

よい わるい

△ 子育ての情報は家族に伝えるべきという情報の発信!

△ フェイスブックを活用しては子育ての情報を発信する

クーポン

よい わるい

△ クーポンは子育ての負担を減らすのに役立つ

△ クーポンは子育ての負担を減らすのに役立つ

その他

よい

〇 〇

お金

よい わるい

〇 〇

〇 〇

〇 〇